

県歴史資料保存協会

創立40周年祝う

会長に小川氏

県歴史資料保存協会に、小川敏雄副会長を
の創立40周年記念総会 後任にする役員改選案
が16日、岐阜市宇佐の などが承認された。
県図書館で開かれ、丸 同協会は、市町村史
山幸太郎会長を顧問の編さんが盛んだった



就任あいさつをする小川敏雄新会長と丸山幸太郎顧問(左から)＝岐阜市宇佐、県図書館

1974年、県市町村
市史連絡協議会として
発足、79年に改称した。
現在、県内の42市町村
と郷土史研究者、賛助
企業など約300会員
が所属。県歴史資料館
とも連携しながら、歴
史資料の収集・保存活
動のほか、人材育成、
県民の歴史資料に対す
る意識の向上などに取
り組んでいる。

総会では、役員の改
選をはじめ、本年度の
事業計画や予算など8
議案が承認された。本
年度の主な事業は、今
年から東濃会場も加わ
り県内5圏域で開催さ
れる古文書読解講習会
など。
新任の小川会長らは
あいさつで、今後の活
動充実への意気込みを
語った。また功労者3
人の表彰もあった。
総会後は、国立公文
書館業務課受入管理係
長の寛雅貴さんが「国
における公文書管理の
取組状況等について」
と題して講演した。
(古川貴子)